

諸人のここに学びて―校長室から見える風景―(36)

一年の締めくくりに

23日に令和7年度第3学期終業式を行いました。それほど寒くなく、穏やかな日となり、生徒の顔を見て話をして一年を締めくくることができました。

終業式では入学式、始業式で伝えたことをもとにこんなことを話しました。

「言葉は違っても、大事なことは同じ。一日一日をどう過ごしていくか」

「一人一人にここぞというふんばりどころがある。達成感や充実感を前に進む原動力にしてほしいが、時には悔しい気持ちや反省することを原動力に進んでもいい。日々の過ごし方がその時を助ける。」

1年次、2年生の生徒ともそれぞれに頑張ったことや達成感を得たことがあったと思います。しかし、時に悔しいとかなんとかしたいというそんな気持ちもエネルギーにしてほしいものです。今できることに全力で取り組んでほしい、まさに「自分への投資」です。

この一年、生徒の一人一人の力や可能性を引き出せるように教育活動を展開したいと思ってきました。授業をしている教諭時代もそうでしたがいくつになってもよいもの（今なら教育活動になるかと）を、と思う気持ちに変わりはありません。今は教職員全体でそこに取り組んで行けたらと思います。課題も改善すべき点もまだまだありますが、この一年保護者のみなさまはじめ地域のみなさま、関係のみなさま方に多くのご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。